

## コスタリカ内政・外交定期報告(2024年12月)

### 【ポイント】

#### 内政

- 専門医不足による保健省緊急事態宣言

#### 外交

- 当国に対するメキシコサイバー犯罪集団による攻撃
- アンドレ外相の訪米
- 5G問題を巡るコスタリカ電力公社(ICE)幹部及びファーウェイ社告訴
- 当国に対する中国サイバー犯罪集団による攻撃

### 【本文】

#### 内政

- 専門医不足による保健省緊急事態宣言

12月11日、当国保健省は、専門医不足を理由に国家保険緊急事態宣言を発出した。同宣言により、国内外を問わず医師を一時的に雇用することが可能となる。2024年6月～11月の半年間において、84名の医師が社会保険庁(CCSS)管轄下の公立病院を離職しており、12月3日に同庁は機構緊急事態宣言を発出している。10月末の時点で、18万人5千人以上が公立病院での外科手術を受けるために3年以上待機している。

#### 外交

- 当国に対するメキシコサイバー犯罪集団による攻撃

12月2日、メキシコ犯罪集団が「ランサムウェア身代金」目的により、コスタリカ石油公社(RECOPE)、テレビ局 Repretel 及び治安省移民局のシステムをサイバー攻撃していたことが確認された。一連のサイバー攻撃の結果、コスタリカの国営・民間企業10社以上、メキシコ企業200社以上に被害が及んだと推定されている。

- アンドレ外相の訪米

12月10日、アンドレ外相は、2025年1月のトランプ大統領就任を前に、ボガンテス科学技術通信大臣と共に訪米し、米国上下院議員やアマゾン等の企業関係者らと面会した。上下院議員らとの会談では、地域安全保障、組織犯罪、サイバーセキュリティ、移民問題に対応するための国際協力について話し合われた。

●5G問題を巡るコスタリカ電力公社(ICE)幹部及びファーウェイ社告訴

12月11日、当国政府は、コスタリカ電力公社(ICE)監査役ら幹部数名と当国ファーウェイ社を刑事告訴した。訴状によると、2013年以降、ICEとファーウェイの間の契約手続きは他の競合企業を排除する仕様になっており、4Gネットワーク開発にかかる複数契約及び契約延長が両者間で行われたという。

●当国に対する中国サイバー犯罪集団による攻撃

12月17日、駐コスタリカ米国大使館は、「コスタリカのサイバーセキュリティの見直しを行った結果、中国に滞在するサイバー犯罪組織がコスタリカの通信技術システムに侵入しようとした痕跡が見られた」とX(旧ツイッター)で公表した。同大使館は、「米国はコスタリカと連携しつつ、これらサイバー犯罪の脅威と闘い、コスタリカの主権を守るために支援を表明する」と述べた。これに対し、駐コスタリカ中国大使館は、「米国が中国のイメージを中傷し、自国の利益を追求するために、中国とコスタリカの関係に干渉すること」を強く非難する旨の声明を出した。